

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 129号

2015/2/16 発行  
株式会社 立花商店  
坂元 麻美

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

### 1、市況の動き

① 最高3月 LDN 市場£2,018 /3月 NY 市場\$2,969 (2/13) 先週比 LDN +61 / NY +194  
② 最低：3月 LDN 市場£2,008 /3月 NY 市場\$2,863 (2/9,2/10) 先週比 LDN +115 / NY +191  
週内価格差額 (①-②) : LDN 市場£10 (傾向↑) / NY 市場\$106 (傾向↑)  
週内建玉推移 : LDN市場 236,320枚(2/6終了時)⇒235,670枚(2/12終了時) **-650枚**  
NY市場 197,764枚(2/6終了時) ⇒184,908枚(2/12終了時) **-12,856枚**

	2015/2/9(月)		2015/2/10(火)		2015/2/11(水)		2015/2/12(木)		2015/2/13(金)	
	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY	LD	NY
4-Mar	<b>2008</b>	2867	1993	<b>2863</b>	2009	2879	2016	2955	<b>2018</b>	<b>2969</b>
5-May	1977	2866	1967	2868	1981	2884	1987	2919	1989	2931
5-Jul	1959	2857	1950	2859	1963	2871	1968	2904	1971	2915

### 2、アジア：需要低下によりバターレシオが21カ月ぶりの低水準(2/6)

\*バターレシオは1.9~2.0に低下

\*バターレシオの低下でバター価格下落にも関わらず、市場の動きは静か

\*パウダー価格は\$1,800~\$2,100のレンジで推移

トレーダーからの情報によると、バターに対する需要の低下がみられる中、アジアの圧砕業者はバターとパウダーの過剰在庫がはけるのを待っている状況下で、原価割れを覚悟でレシオを設定しており、アジアのバターレシオは21カ月ぶりの低水準を記録した。

しかし、レシオが低下しているにも関わらず市場の動きは静かである。ここ最近ではチョコレートに対する需要の高まりで、世界大手のチョコレートメーカーのハーシー社が価格を上昇させたこともあり、様子見状態だ。

あるトレーダーは「世界的にみると、十分にチョコレートが供給されているとはいえない。われわれは12月～1月の消費量のデータをまとめているところだ。」と述べている。

一方で買い手側からすると、原料の供給過剰によりパウダーやバター価格が下落することを期待している。

また他のトレーダーがロイターに対し「需要に対して十分すぎる供給量がある。したがってチョコレート産業ではよりバターレシオが低下することを期待している。」と述べた。

バターレシオはチョコレート需要の指標となるが、12月時点では2.07～2.1であり、この時でも2013年4月以来の低水準であった。

ここ最近、カカオ豆価格が高騰していることを受けて需要が低下しており、アジアの圧砕量は低下し、第4四半期において3年ぶりの低水準となった。

トレーダーによると「圧砕業者は稼働率の低下により、どこかの時点でバター在庫がタイトになりレシオがまた上がり出すのではないか。ただそれがいつかは誰も分からない。」と述べている。

圧砕業者は彼らのバター・パウダー在庫について数量は明かしてはいない。

ここ最近動きが静かなのは、2月19日から始まる旧正月の休暇も要因として考えられる。関係者はまるで夏のホリデーシーズンのように静かだと述べている。第1四半期の圧砕量は低下するだろう。」と述べている。

実際のココアパウダーの在庫は依然として多い。取引価格は12月度の\$1,700～\$1,900から上昇し\$1,800～\$2,100となった。

専門機関から公表されたデータによると、インドネシアの主生産地となっているスラウェシ島から輸出されたカカオ豆の数量は1月度で2336.12トンとなり昨年同時期の760トンより約20%上昇した。世界第3位のカカオ豆生産国のインドネシアでは生産量を倍増させようと、9500万ドルもの投資計画を予定している。

### **3、ナイジェリア：乾燥気候が続きカカオ産業に懸念(2/3)**

ナイジェリアのカカオ産業の関係者やトレーダーは長引く乾燥気候により、来るミッドクロップに深刻な影響を与えるとみている。ナイジェリアの南西部と南東部にある2つの主生産地では11月以降全く雨が降っていない。このためカカオの木や葉、ミッドクロップのカカオポッドが干からびてしまう懸念がある。

ナイジェリアカカオ協会の代表を務める Sayina Riman 氏は「乾季はカカオ豆にとってシビアな時期で雨がまったく降らない状態が続く。したがって乾季がそこまで長引かないことが望まれている。さもなければミッドクロップの収量の約20%がダメージを受けてしまう。」と述べる。

また彼は「すでに水不足が深刻な状況をもたらしている。カカオの木に花やカカオポッドが実っていない。ミ

ッドクロップの小さなカカオが黄色く変色し干からびてしまいそうだ。」と述べている。

ナイジェリアカカオ協会は、天候に恵まれたら今年のミッドクロップは 7 万～8 万トンに達するとみている。ミッドクロップのカカオは 3,4 月～7,8 月に収穫される。

カカオ産地の乾季は 11 月から始まり通常 4 月まで続く。その間 1 月～3 月に一時的な降雨がある。ナイジェリアカカオ協会によると、ナイジェリアのカカオ豆の年間生産量は 30 万トンでこのうち南西部で 70%、南東部で 25%を占めている。

#### **4、コロンビア：カカオ豆価格は依然 5000 コロンビアペソ(2.08USD)／k g (2/3)**

コロンビアの The National Federation of Coffee Producer と Fedecacao は 2015 年を通して、カカオ豆価格が平均で 5000COP にとどまることを期待している。

カカオ連合のプロジェクトによって実行された検証によると、2015 年 1 月には国内外でカカオ豆が下落基調となったにも関わらず、2014 年から 5000COP を下回っておらず見通しは良い。

しかしながら Fedecacao の代表は、カカオ豆の生産に焦点をあてる必要性を指摘している。

彼はここ最近のカカオの国際動向はチョコレート価格上昇で消費が落ち、世界の主要なプロセッサーからのカカオ豆の需要が伸び悩んでいることに起因していると考えている。

2015 年、Fedecacao はカカオ豆の生産に力を入れ、輸出を伸ばすために新しい市場を攻めようとしている。

2015 年に農業省が 200 億 COP の投資を予定している、カカオ栽培・品質向上プログラムがそのカギとなりうるだろう。

#### **5、コートジ：カカオ豆の着荷量、2 月 1 日までに 109 万 3000 トンに達する (2/2)**

世界最大のカカオ豆産地であるコートジでは、メインクロップが始まった 10 月以降 2 月 1 日までで、約 109 万 3000 トンのカカオ豆が港に着荷した。昨年同時期の 109 万 7000 トンからあまり大きな変化は見られなかった。輸出業者は 1 月 26 日～2 月 1 日までの 1 週間で 4 万 8000 トンのカカオ豆がアビジャン港とサンペドロ港へと出荷されたとみている。

#### **6、コートジ：過去最高の収穫量を記録し、農家に思いがけない大きな収入となる (2/5)**

コートジの経済省によると、コートジは昨年、記録的な収穫量に恵まれ歳入が 20%も上昇した。

隣国のリベリアやギニアで感染が拡大したエボラの影響を奇跡的に回避し、過去最大の収穫量となり 20 億ユーロを稼ぎ出した。西アフリカでは 2013/14 期に 174 万トンのカカオ豆を生産し、k g 当たり約\$1.29 で取引がされた。カカオ豆国際市場価格は昨年 9 月、エボラ出血熱の影響がコートジやガーナに拡大するのではという懸念から 3.5 年ぶりの高値をつけた。

コートジと比較しごく少量のカカオ豆を生産しているシエラレオネでは、エボラの影響により生産量と価格が大幅に下落した。コートジでは世界のカカオ豆のうち約 35%を生産しており、おもにチョコレートに使用される。世界銀行によると、コートジ国内で生産される農産品のうちカカオ豆は 20%を占めており、そのうち約半分が海外へ輸出される。

経済省によると 2014/15 期のカカオ豆の農家最低保証価格は 13%上昇し、k g あたり \$1.47 となる見通しである。カカオ部門の 3 年にわたる改革の後、農家に富をもたらした国に広がる貧富の差を解消することを示している。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545      w-ikuta@tachibana-grp.co.jp